

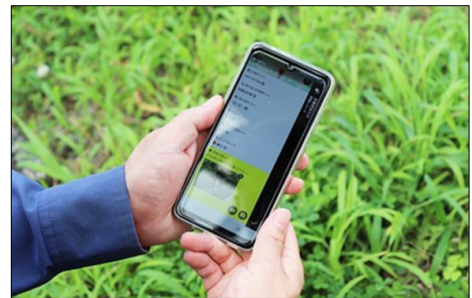
「令和 8 年熊本地震」への義援金として 300 万円を寄付 被災自治体・企業へ当社ソフトウェアの無償提供を開始

この度の「令和 8 年熊本地震」により被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

アステリア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下、アステリア）は、令和 8 年熊本地震による被災者の皆様の救済や被災地の復旧に役立てていくために、義援金として 300 万円を寄付することを決定しました。

また、令和 8 年熊本地震により被災した地域の自治体、企業・団体等の皆様の早期復旧と今後の復興活動の支援を目的として、既に災害対応や自治体運営で実績のある以下製品の無償提供を実施します。

- ・現場向け業務アプリプラットフォーム「Platio」
- ・デジタルコンテンツプラットフォーム「Handbook X」
- ・AI ネイティブ業務プラットフォーム「Bakusoku.AI」



Platio で被災状況を報告する様子

1. 義援金の寄付

寄付金の額	300 万円
寄付金の納付先	令和 8 年熊本地震の被災自治体（納付先は調整・検討中）

2. 当社ソフトウェアの無償提供

対象企業・団体	令和 8 年熊本地震で被災された地方自治体、企業、団体等
無償提供する製品・サービス※	①現場向け業務アプリプラットフォーム「Platio」 ②デジタルコンテンツプラットフォーム「Handbook X」 ③AI ネイティブ業務プラットフォーム「Bakusoku.AI」
被災地での用途	被災地支援、復興に関わる業務（活動）のデジタル化を促進するソフトウェア「Platio」および「Handbook X」、「Bakusoku.AI」の無償提供を実施します。これらのソフトウェアはプログラミングが一切不要なノーコード仕様に加えて AI 活用機能も兼ね備えていることから、非 IT 技術者でも容易に利用することが可能です。 被災現場と対策本部の情報共有や、ボランティアスタッフ間での状況共有などをサポートします。（事例後述）
無償提供期間	2026 年 8 月 3 日～2027 年 1 月 31 日
受付期間	2026 年 7 月 30 日～2027 年 12 月 31 日
お申込み方法	アステリア 災害復興支援窓口（下記）まで 組織名、代表者名、想定用途などについてご連絡ください。 E-mail : dra@asteria.com

※提供する製品プランについては当社が指定する内容となります。

<被災地での当社ソフトウェアの活用イメージ>

■現場向け業務アプリプラットフォーム「Platio」

用途	利用イメージ
Platio は 100 種類以上のテンプレートを備え、「被災状況報告アプリ」などを現場ですぐに利用できます。現場の状況は写真・動画・位置情報（GPS）とともに、スマートフォンからその場で報告・共有が可能です。オフラインでも利用でき、通信回復時に自動同期されるため、通信が不安定な被災地でも安心してお使いいただけます。 製品サイト：https://plat.io/ja/ <テンプレート例> 被災状況報告：https://plat.io/ja/features/plates/3994/ 復命書作成：https://plat.io/ja/features/plates/89414/ 危険予知記録：https://plat.io/ja/features/plates/4036/	詳細情報 現場の写真 現場の動画 位置情報（自動入力） 情報はクラウドに一括保存 ExcelやCSVでの活用も簡単 全情報を迅速 伝達・共有 警戒地区・被災地区 スマホから 状況を随時報告 災害対応本部 自宅・出先の職員 アプリ活用で状況の可視化と 即時共有を実現

■デジタルコンテンツプラットフォーム「Handbook X」

用途	利用イメージ
被災地の支援活動に従事する職員やボランティアスタッフ向けの手順書や動画マニュアルの登録・閲覧・共有がワンストップで可能です。また、状況を記録する情報更新や災害対応マニュアルの追加などが、スマホやタブレット上で臨機応変に行えます。 製品サイト：https://www.handbookx.com/jp/	管理者 相互に配布 コンテンツ利用者

■AI ネイティブ業務プラットフォーム「Bakusoku.AI」

用途	利用イメージ
様々な規模のソフトウェアやアプリを AI との対話形式により最短 3 分で作成できるため、被災現場の避難所や仮設トイレの場所などの情報を共有ツールとして利用することが可能です。 登録された情報の入力範囲や閲覧範囲が指定できるため、一般向け、企業向けどちらでも利用できます。 製品サイト：https://bakusoku.ai/	避難所情報共有アプリ

3. 当社の被災状況

弊社は熊本市内に熊本 R&D センター（所在地：熊本市中央区）を設置しております。7 月 29 日時点の、今回の地震による影響について以下の通りお知らせいたします。

- ・当センターに勤務する全社員の無事を確認しております
- ・当センター内において業務に影響する被害は確認されておりません
- ・当センターが入居するビルのエレベーターは停止しています

上記の状況を踏まえ、ビル復旧までは在宅勤務にて業務を行う予定です。在宅勤務における業務上の制約はありません。今後も状況を注視するとともに、被災地で必要とされる支援について検討してまいります。

改めまして、被災された皆様が一日も早く平穏な生活を取り戻されますことを、心よりお祈り申し上げます。

■「アステリア株式会社」について（Web サイト <https://jp.asteria.com/>）

アステリアは社会や企業を「つなぐ」エキスパートとして「ソフトウェアで世界をつなぐ」をコンセプトに、ヒト、モノ、オモイを「つなぐ」製品やサービスを提供するソフトウェア開発企業です。基幹製品のデータ連携ツール「ASTERIA Warp」は、様々なシステムやサービスをノーコードでつなぐ製品として、1 万社を超える企業が導入しています。また、デジタルコンテンツプラットフォーム「Handbook X」は資料や動画、Web サイトなどの多様な情報の共有、現場向け業務アプリプラットフォーム「Platio」はノーコードで自社の業務に合ったモバイルアプリを作成・活用することが可能です。

さらに、AI/IoT プラットフォーム「Gravio」は現場データの収集・統合・活用までをワンストップで実現しフィジカル AI 領域にも展開。AI ネイティブ業務プラットフォーム

「Bakusoku.AI」、企業向け JPYC 入出金管理サービス「JPYC Gateway」、ロボットアプリケーション向け継続的シミュレーションプラットフォーム「Artefacts」など、自律・分散・協調時代に貢献するソフトウェア等の提供を通じて、DX や業務の効率化を推進しています。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社 広報・IR 部：長沼史宏・齋藤ひとみ

TEL:03-5718-1297 / 携帯電話:080-7709-5212（齋藤） / E-mail: press@asteria.com

アステリア、ASTERIA、Handbook、Platio はアステリア株式会社の登録商標です。
その他記載されている会社名、製品名、サービス名、ロゴ等は各社の商標または登録商標です。